



9月のほけんだより



令和2年9月1日発行

暑い夏をエネルギッシュに過ごした子どもたち。そろそろ夏の疲れが出るところです。園ではこれから、運動会の練習が始まります。元気に活動に向かえるよう、今一度、子どもの健康生活を見直してみましよう。

9月1日は防災の日

非常用品は備えていますか？
もしものとき、すぐに取り出せるよう、決まった場所に用意しておきましょう。
まだ、定期的の中身のチェックをし、水や食料品など、期限切れの物が入っていることのないようにしましょう。

とびひ

原因 → 虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌などが感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

症状 → 皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することもある。

対応 → 主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールは避ける。シャワーを浴びる程度ならOK。

水いぼ

原因 → ボックスウイルス群が原因。タオルやビート板の共有、体の接触などで感染する。

症状 → 粟粒大のいぼが胸や腹、わきの下などでできて広がる。

対応 → 完治まで半年から1年半程度かかる。自覚症状がなければ治療は不要。肌のバリア機能が低下しているときや、かゆくてかきこわしてしまうようなら、医師と相談のうえ、いぼを取ったり、薬による治療を行うことも。



救急用品を点検しましょう

9月9日は救急の日です。この機会に、ご家庭の救急用品をチェックしてみましょう。古い薬は処分し、新しいものを補充しましょう。

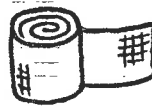
□体温計



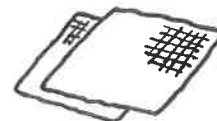
□ばんそうこう



□包帯



□ガーゼ



□脱脂綿



□綿棒



□ピンセット



□毛抜き



□はさみ



□水まくら



□湿布薬



□化膿止め



□虫刺され用塗り薬



いざというときに慌てないように、救急箱は、取り出しやすい所に保管しましょう。